

裁判官：学校銃撃の訓練をしていた聖戦士たちは、不当に差別されている

ニューメキシコ官憲が容疑者を告訴するのは、人権侵害と主張

【訳者注】先日 (8/12) 掲載した、学校銃撃の訓練一味事件の後日譚である。逮捕された一味を、裁判所は不可解な理由で釈放してしまう。その理由は、よく読まない（あるいは読んでも）わからないかもしれないが、わかってくるのは、アメリカは、イスラム教徒犯罪者に対し、腫れ物に触るのように、事を荒立てないようにしているという事実である。これは前記事にあった、オバマと DNC（民主党全国委員会）が、アメリカは滅びよと公言するイスラム集団を、自分たちの祝賀会に、客として招いてスピーチをさせるという異常事態を考えれば、わかりやすくなる。彼らに、学校襲撃の真相を暴かれては困るということであろう。これはまた、イギリスのメイ首相が、ベド犯罪者に対して非常に甘い理由とも、つながるであろう。人類を滅ぼすことに協力している犯罪者を、現在の西側犯罪政府が、どうして取り締まることができようか？

Jay Greenberg, www.neonnettle.com

August 18, 2018



裁判官 Sarah Backus は、ある学校を銃撃しようと、子供たちを訓練していた一味が「不当に差別されている」と言った

聖戦士（ジハーディ）の一味が、そのニューメキシコの訓練キャンプが発見されて、逮捕されたというショッキングなニュースに引き続いて、裁判官が容疑者たちを釈放した理由が、いま明らかにされた。<https://neonnettle.com/news/4790-new-mexico-judge-releases-jihadi-terrorist-suspects-back-into-community>

セアラ・バックス裁判官は、アメリカの学校を銃撃しようと、子供たちを訓練していたとして逮捕された容疑者たちは、ニューメキシコの官憲から、彼らがイスラム教徒であるために「不当に差別されている」という判断を下した。

CNN 報道は、この囲い地で起こったとされる、子供を含む、いくつか恐るべき出来事を明らかにしている。

<https://www.cnn.com/2018/08/13/us/new-mexico-compund-suspects/index.html>

主張されている不穏な出来事の、長いリストの中には、ある父親が宗教的儀式の最中に、自分の子供を殺したというもの含まれる。



この事件の容疑者たちは、明らかに、裁判官の法廷判断に喜んだ。

Conservative Tribune の報道によると、他に 11 人の子供たちが、この囲い地で発見されたが、彼らはすべて、ひどく栄養不良の状態だったと官憲は述べている。

<https://www.westernjournal.com/ct/authorities-discriminated-muslims-jihad/>

The Daily Caller によると、「不潔な環境の中にいた子供たちは、学校襲撃を行う訓練を受け

ていた。武器の隠し場所はこの所有地の中に見つかった。」

<https://dailycaller.com/2018/08/13/new-mexico-jihadis-leave-jail-child-abuse/>

<https://www.westernjournal.com/ct/texas-governor-greg-abbott-reveals-innovative-plan-to-stop-school-shootings/>

ニューメキシコの官憲は、「5人の、ムスリムとされる過激主義者は、11件の子供虐待を行っていた」と告発した。

しかし、殺された4歳の少年の父親、シラージ・ワッハジは、息子殺しを咎められることはなかった。

同じ名前をもつ、シラージ・ワッハジの父親は、「1993年の世界貿易センター爆破事件の、共謀罪の告訴を取り下げられた人物」である。<https://www.westernjournal.com/ct/oops-linda-sarsours-mentor-was-father-of-new-mexico-jihad-trainer/>

また彼は、現在、イマーム（イスラム教指導者）として、ニューヨークのブルックリンに住んでいる。

法廷に提出された証拠にもかかわらず、セアラ・バッカス裁判官は、全く被告側の立場を取ったと、デイリー・コーラーは報じている。<https://dailycaller.com/2018/08/14/judge-new-mexico-anti-muslim-discrimination/>

彼女は特に、被告の宗教が、共同体に与える脅威の理由として利用されているとして、これを問題にした。



この一味は、アメリカの学校を襲撃するために、子供たちを訓練していたと言われる

バックスは、この裁定をこのように説明した：——「被告たちは明らかにイスラム教徒です。法廷は、州政府から、危険度を考えた裁定をするように、そして、どんな釈放の条件も、共同体の安全を考えたものでないよう求められました。」

私たちと直接、契約することによって、インターネット検閲を避けてください。

「州政府は明らかに、法廷がそのような決定をするとき、ひとり一人の宗教を考慮することを期待していました。」

「法廷は、危険度を決定するときに、これ以外に、個人の宗教を考慮に入れるように、求められたことはありません。」

バックス裁判官は、次いで、彼女のショッキングな決定の“正当な理由”を述べた。

「法廷は、危険度を決定するときに、一個人の宗教を考慮することを法廷に許可する、どんな法律も知りません。」

「州は、大きな陰謀が動き出していると言っていますが、その陰謀とは何であるか、明瞭な、納得のいく証拠によって、私の満足のいくようには、説明してくれません。」

バックスはそこで、5人の被告全員を、2万ドルの署名された保釈書を基に、釈放した。

この決定は、この男たちが、「彼らの釈放契約に違反さえしなければ、どんな支払いも避けることができる」ものだった。

この私有地内で見つかった、殺された子供、武器の隠し場所、不潔な状態で生きていた、11人の憔悴した子供たちなどは、バックスにとって、この男たちが脅威であるとか、裁判まで拘留すべきだとか考えるのに、十分ではなかった。

この裁判官は、これらの被告たちが自由に歩き回ることを理解するのに、何があればよかったのだろうか？

彼らが起訴を避けようとして、逃亡するのを防ぐための、金銭上のリスクをさえ免除してやるのが、よい考えだと、どうして彼女には考えられたのだろうか？

最近のニュース見出しの、苦しむ子供たちについての、あらゆる怒号の中でも、この裁定は

特別、恐ろしいものに思える。

——以上